


●最近の県内経済

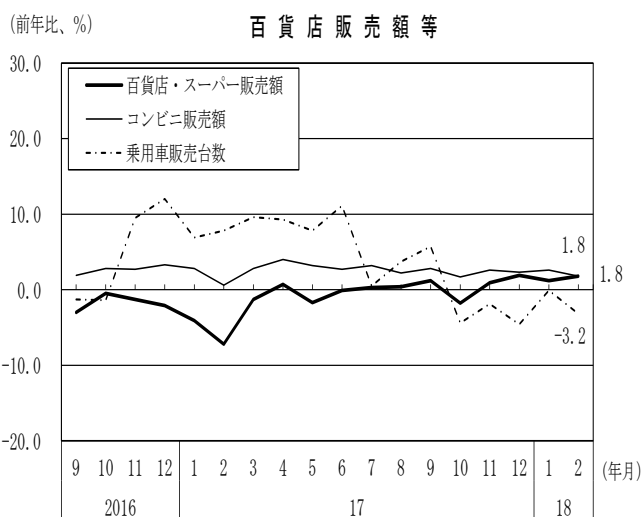
基調判断
(2018年2月を中心として)



今月の概要

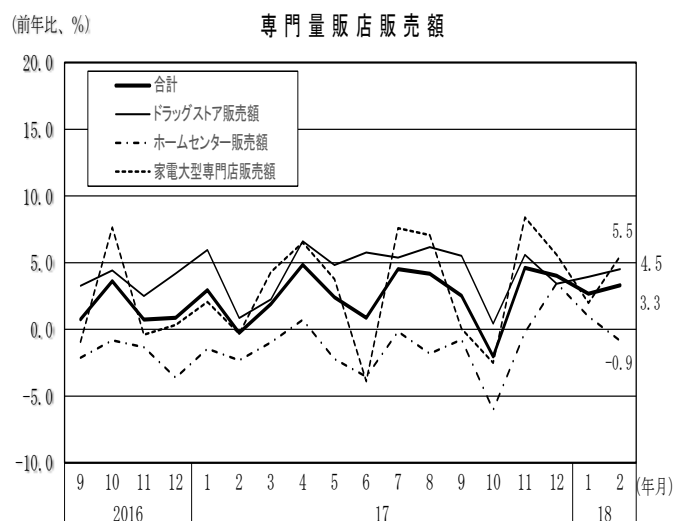
県内景気は緩やかに回復している。

1 個人消費 持ち直し



(資料)経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

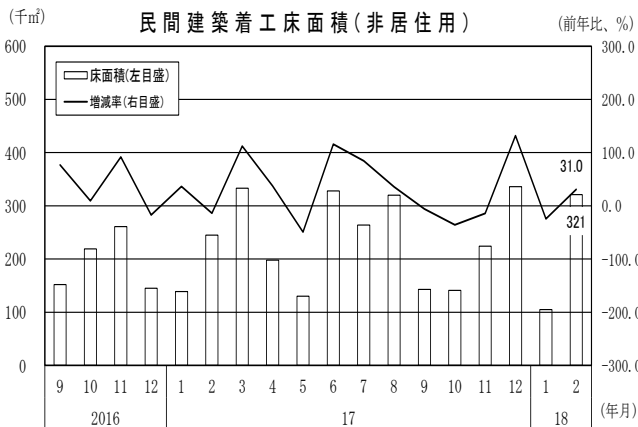
2月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、745億円で前年比1.8%増加した。百貨店は同2.9%減少したが、スーパーは、飲・食料品の増加から、同2.9%増加した。コンビニ販売は同1.8%と堅調に推移している。乗用車販売(軽含む)は、同3.2%減少した。内訳をみると、軽乗用車が同2.0%増加したものの、普通車が同1.4%減少し、小型車が同10.5%減と引き続き減少した。



(資料)経済産業省

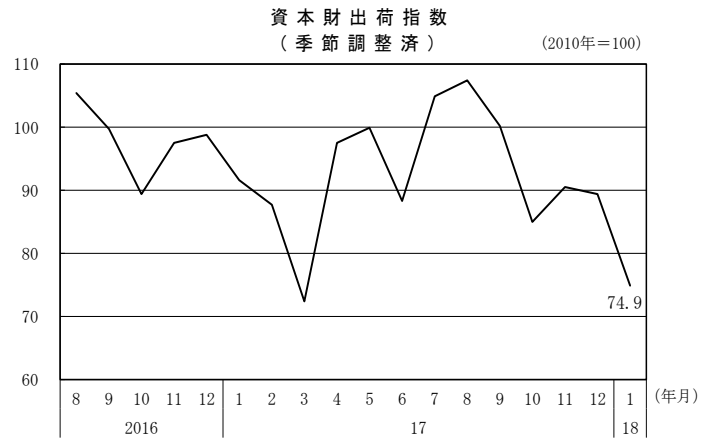
2月の専門量販店販売額は、561億円で前年比3.3%と引き続き増加した。内訳をみると、ホームセンターが143億円で同0.9%減少しているが、ドラッグストアは、292億円で同4.5%と好調に推移し、家電大型専門店は、情報家電を中心に、127億円で同5.5%と4か月連続で増加している。

2 設備投資 増加基調



(資料)国土交通省

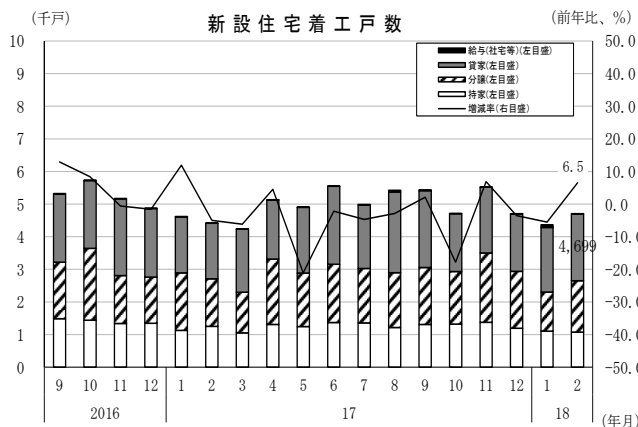
2月の民間建築着工床面積(非居住用)は、321千㎡で前年比31.0%増加した。用途別にみると、事務所などが減少したものの、工場及び作業場、倉庫、病院・診療所などが増加した。



(資料)埼玉県

1月の資本財出荷指数(季節調整済)は、74.9で前月比16.2%低下した。

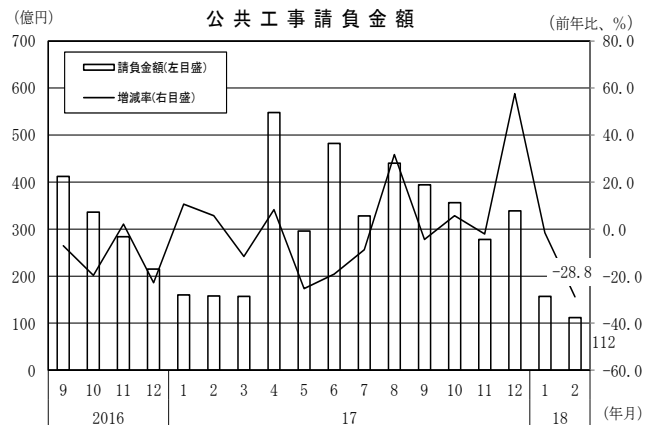
3 住宅建設 弱含み



(資料)国土交通省

2月の新設住宅着工戸数は、4,699戸で前年比6.5%増加したが、2月までの年度累計では前年同期比4.0%の減少。2月単月を利用関係別にみると、貸家は2,051戸で前年比20.6%と増加し、マンションも326戸で同210.5%増加した。一方、持家は1,072戸で同14.4%減少し、戸建ても1,249戸で同7.1%減少した。

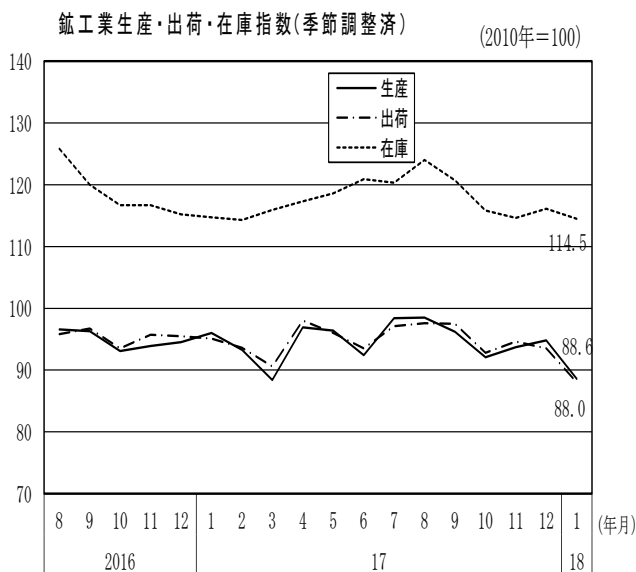
4 公共工事 横ばいの動き



(資料)東日本建設業保証株式会社

2月の公共工事請負額は、112億円で前年比28.8%減少したが、2月までの年度累計では前年同期比0.7%減とほぼ横ばいで推移している。2月単月を発注者別で見ると、独立行政法人等が増加したものの、国、県、市町村などが減少した。

5 生産活動 足元低下

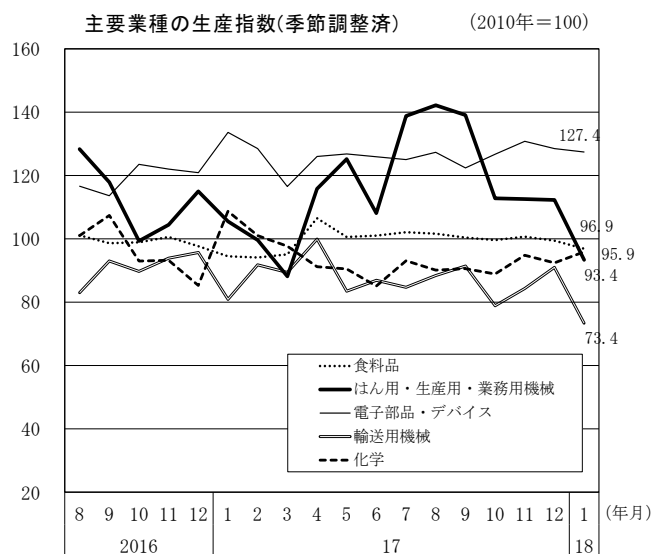


(資料)埼玉県

1月の生産指数(季節調整済)は、88.6で前月比▲6.5%と3か月ぶりの低下となった。化学(医薬品)などが上昇したが、輸送用機械(乗用車、自動車エンジン)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、業務用機械(医療用機械器具)、はん用機械(空気圧機器)などが低下した。

出荷指数(同)は、88.0で前月比▲5.9%と2か月連続の低下となった。情報通信機械が上昇したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、輸送用機械(乗用車、自動車エンジン)などが低下した。

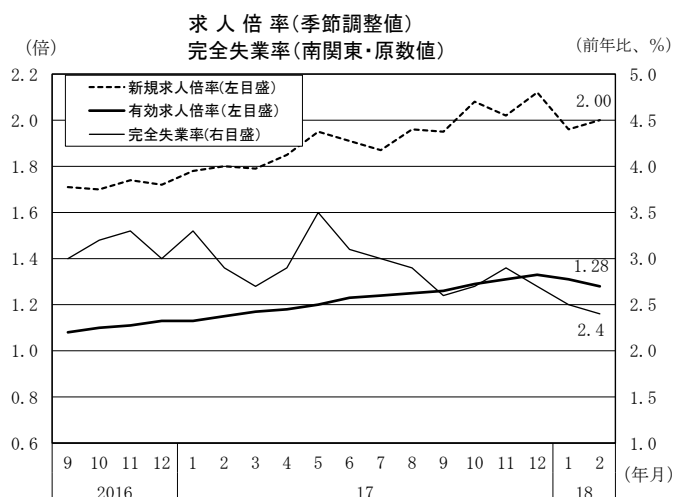
在庫指数(同)は、114.5で前月比▲1.4%と2か月ぶりの低下となった。食料品が上昇したが、電気機械(電気測定器)、プラスチック製品などが低下した。



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、96.9(前月比▲2.5%)となり、2か月連続で低下した。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、127.4(前月比▲0.9%)となり、2か月連続で低下した。
- ◆ はん用・生産用・業務用機械(同)は、93.4(前月比▲16.8%)となり、5か月連続で低下した。
- ◆ 輸送用機械は、73.4(前月比▲19.3%)となり、3か月ぶりに低下した。
- ◆ 化学(同)は、95.9(前月比+3.8%)となり、2か月ぶりに上昇した。

6 雇用情勢 着実に改善



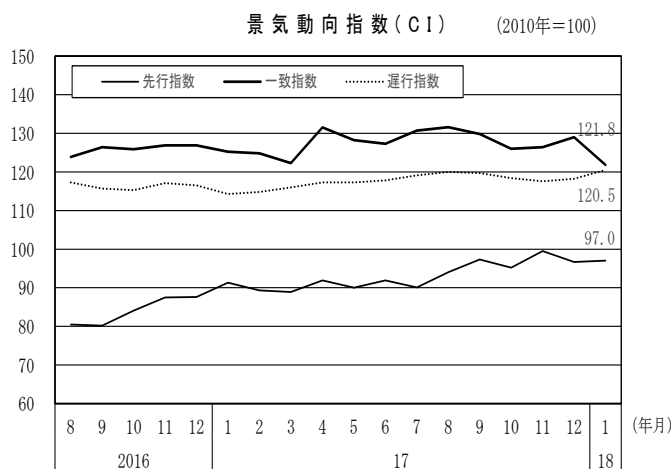
(資料)厚生労働省、総務省

2月の有効求人倍率(季節調整済)は1.28倍で前月比0.03ポイント低下したが、新規求人倍率(同)は2.00倍で同0.04ポイント上昇した。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.4%と同0.1ポイント改善している。

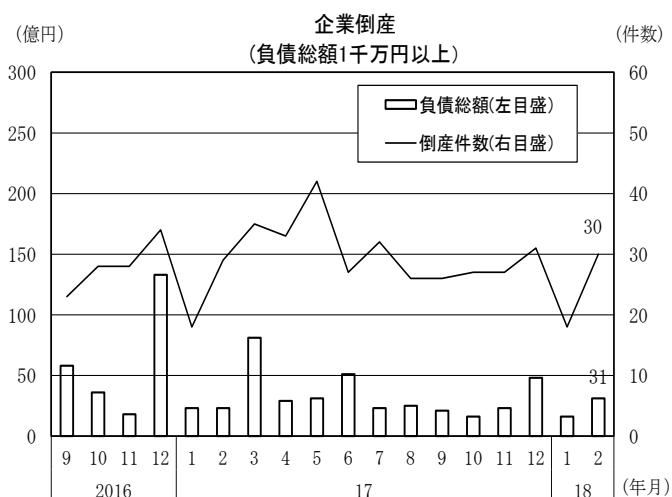
〈参考〉

景気動向指数 一致指数は足踏みを示している



(資料)埼玉県

7 企業倒産 件数、金額とも増加



(資料)帝国データバンク

2月の企業倒産件数は、30件で前年比1件の増加、負債総額も、31億円で同8億円の増加となった。

業種別にみると、サービス業が8件で最も多く、次いで製造業と小売業が各々6件、建設業が4件、卸売業が3件となっている。

要因別では、販売不振が24件で最も多くなっている。

1月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、121.8で前月比7.2ポイント低下し、3か月ぶりの下降となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、97.0で前月比0.3ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、120.5で同2.3ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。